

2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月10日

上場会社名 エキサイトホールディングス株式会社 上場取引所 東
コード番号 5571 URL <https://www.excite-holdings.co.jp/>
代表者(役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 西條 晋一
問合せ先責任者(役職名) 専務取締役CFO (氏名) 石井 雅也 (TEL) 03(6450)2729
四半期報告書提出予定日 2023年11月10日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	3,704	—	229	—	214	—	142	—
2023年3月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 88百万円(—%) 2023年3月期第2四半期 一百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	29.51	28.52
2023年3月期第2四半期	—	—

(注) 1. 当社は、2023年3月期第2四半期については四半期財務諸表を作成していないため、2023年3月期第2四半期の数値及び2024年3月期第2四半期の対前年同四半期の増減率については記載しておりません。

(注) 2. 当社株式は2023年4月19日付で東京証券取引所スタンダード市場に上場しております。2024年3月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の計算においては、新規上場日から当第2四半期会計期間の末日までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	5,989	3,387	56.5
2023年3月期	4,550	2,022	44.4

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 3,383百万円 2023年3月期 2,019百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,650	1.5	630	1.3	610	2.2	455	0.2	93.35

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 2. 当社は2023年4月18日を払込期日とする公募増資により普通株式900,000株、2023年5月17日を払込期日とする第三者割当増資により普通株式135,000株、新株予約権の行使により1,410株を発行しており、その影響を考慮して1株当たり当期純利益を算定しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

期中における重要な子会社の異動に関する注記

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用に関する注記

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

会計方針の変更に関する注記

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2024年3月期2Q	4,932,950株	2023年3月期	3,896,540株
2024年3月期2Q	—株	2023年3月期	—株
2024年3月期2Q	4,814,806株	2023年3月期2Q	—株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

(注) 1. 当社は、2022年12月9日付で普通株式1株につき10株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

(注) 2. 当社は、2023年3月期第2四半期については、四半期連結財務諸表を作成していないため、2023年3月期第2四半期の期中平均株式数については記載しておりません。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社グループで判断したものであり、リスクや不確定な要素等の要因が含まれており、実際の成果や業績等は記載の見通しとは異なる可能性がございます。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(収益認識関係)	10
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における日本経済は、新型コロナウイルス感染症に対する規制が緩和され、社会・経済活動の正常化が進んだことから緩やかな回復傾向にあります。その一方で、ウクライナ情勢の長期化による原材料価格の高騰や為替変動に伴う物価上昇などにより、依然として先行きは不透明な状況となっております。

このような環境のもと、当社グループは「両利きの経営」を成長戦略に掲げ、プラットフォーム事業及びブロードバンド事業のユーザー数拡大による「既存事業の成長」を実現しながら、その収益基盤を活用したSaaS・DX事業への積極投資による「新たな事業の柱の構築」、M&Aによる「事業ポートフォリオの強化」を図り、持続的な成長を目指しております。

当第2四半期連結累計期間につきましては、コンサルティングサービス（プラットフォーム事業）やブロードバンド事業を堅調に成長させながら、新たな事業の柱を構築するためにSaaS・DX事業への先行投資を実施してまいりました。また、M&A BASE(株)を連結子会社化し、M&Aアドバイザー・仲介事業に新規参入するなど「事業ポートフォリオの強化」にも努めてまいりました。その一方で、メディアサービス（プラットフォーム事業）においてGoogleの検索アルゴリズムのロジック変更によりページビューが減少し、同サービスの売上高及び営業利益に悪影響を及ぼしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は3,704,555千円、営業利益は229,849千円、経常利益は214,904千円、親会社株主に帰属する四半期純利益は142,061千円となりました。

セグメント別の状況は次のとおりであります。

(プラットフォーム事業)

プラットフォーム事業には、「エキサイト電話占い」や「エキサイトお悩み相談室」等のコンサルティングサービス、「ウーマンエキサイト」等のメディアサービス、「EMININAL」等のD2Cサービス等が属しております。

当第2四半期連結累計期間は、コンサルティングサービスにおいて、良質な占い師・カウンセラーの獲得に加え、積極的なプロモーション投資により新規会員の獲得が進み順調に拡大しましたが、メディアサービスにおいて、検索アルゴリズムのロジック変更によりページビュー数が減少しました。

この結果、売上高は1,555,925千円、営業損益は256,764千円の利益計上となりました。

(ブロードバンド事業)

ブロードバンド事業には、「BBエキサイト」等のISP(注1)サービス、格安SIMの「エキサイトモバイル」等のMVNO(注2)サービスが属しております。

当第2四半期連結累計期間は、「BBエキサイト」を中心としたISPサービスが堅調に推移したことから、売上高は1,850,578千円、営業損益は324,042千円の利益計上となりました。

(注)1 Internet Service Providerの略で、公衆通信回線等を経由して契約者にインターネットへの接続を提供する事業。

(注)2 Mobile Virtual Network Operatorの略で、自社で無線通信回線設備を持たず、他の移動体通信事業者から借りてあるいは再販を受けて移動体通信サービスを提供する事業。

(SaaS・DX事業)

SaaS・DX事業には、「FanGrowth」や「KUROTEN」等のSaaS事業、Webシステムの開発・運用を行うDX事業が属しております。

当第2四半期連結累計期間は、「FanGrowth」や「KUROTEN」等のSaaS事業等の立ち上げに伴う先行投資により、売上高は298,052千円、営業損益は64,826千円の損失計上となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(総資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は5,989,842千円（前連結会計年度末比1,439,034千円の増加）となりました。これは、主に東京証券取引所スタンダード市場への上場に伴う新株発行等により現金及び預金が増加したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は2,602,184千円（前連結会計年度末比74,087千円の増加）となりました。これは、主に未払法人税等が増加したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は3,387,658千円（前連結会計年度末比1,364,947千円の増加）となりました。これは、主に東京証券取引所スタンダード市場への上場に伴う新株発行により株主資本が増加したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比べて1,508,636千円増加し、2,684,164千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は、484,734千円となりました。これは、主に税金等調整前四半期純利益の計上214,904千円、減価償却費76,502千円、仕入債務の増加58,695千円があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、139,146千円となりました。これは、主に事業拡大を目的とした無形固定資産の取得による支出151,126千円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は1,163,049千円となりました。これは、主に東京証券取引所スタンダード市場への上場に伴う新株発行による収入1,275,948千円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予想につきましては、2023年5月12日に公表した数値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,175,527	2,684,164
売掛金	1,153,955	1,134,547
棚卸資産	52,295	29,527
その他	163,204	109,820
貸倒引当金	△44,658	△41,261
流動資産合計	2,500,324	3,916,798
固定資産		
有形固定資産	235	969
無形固定資産		
のれん	570,639	552,330
その他	681,376	754,363
無形固定資産合計	1,252,016	1,306,694
投資その他の資産		
投資有価証券	740,248	684,633
その他	124,728	149,843
貸倒引当金	△66,744	△69,096
投資その他の資産合計	798,232	765,380
固定資産合計	2,050,483	2,073,044
資産合計	4,550,807	5,989,842
負債の部		
流動負債		
買掛金	771,913	830,609
未払法人税等	7,286	86,945
その他	608,897	631,247
流動負債合計	1,388,097	1,548,802
固定負債		
長期借入金	1,140,000	1,053,382
固定負債合計	1,140,000	1,053,382
負債合計	2,528,097	2,602,184

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	10,365
資本剰余金	892,362	2,258,652
利益剰余金	1,082,658	1,224,720
株主資本合計	2,075,020	3,493,738
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△55,845	△110,276
その他の包括利益累計額合計	△55,845	△110,276
非支配株主持分	3,534	4,195
純資産合計	2,022,710	3,387,658
負債純資産合計	4,550,807	5,989,842

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	3,704,555
売上原価	1,962,980
売上総利益	1,741,574
販売費及び一般管理費	1,511,724
営業利益	229,849
営業外収益	
受取利息	10
受取配当金	8,486
その他	1,043
営業外収益合計	9,540
営業外費用	
支払利息	5,364
上場関連費用	17,813
その他	1,308
営業外費用合計	24,486
経常利益	214,904
特別損失	
その他	0
特別損失合計	0
税金等調整前四半期純利益	214,904
法人税、住民税及び事業税	94,366
法人税等調整額	△22,262
法人税等合計	72,104
四半期純利益	142,800
非支配株主に帰属する四半期純利益	738
親会社株主に帰属する四半期純利益	142,061

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	142,800
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	△54,431
その他の包括利益合計	△54,431
四半期包括利益	88,368
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	87,630
非支配株主に係る四半期包括利益	738

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間
(自 2023年4月1日
至 2023年9月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	214,904
減価償却費	76,502
のれん償却額	18,624
売上債権の増減額 (△は増加)	21,498
未収入金の増減額 (△は増加)	58,083
仕入債務の増減額 (△は減少)	58,695
その他	49,264
小計	497,573
利息及び配当金の受取額	7,198
利息の支払額	△5,260
法人税等の支払額	△14,777
営業活動によるキャッシュ・フロー	484,734
投資活動によるキャッシュ・フロー	
無形固定資産の取得による支出	△151,126
その他	11,979
投資活動によるキャッシュ・フロー	△139,146
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入金の返済による支出	△95,716
株式の発行による収入	1,275,948
その他	△17,182
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,163,049
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,508,636
現金及び現金同等物の期首残高	1,175,527
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,684,164

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2023年4月19日に東京証券取引所スタンダード市場に上場いたしました。株式上場にあたり、2023年4月18日を払込期日とする有償一般募集（ブックビルディング方式による募集）による新株発行900,000株により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ554,760千円増加しました。

また、2023年5月17日を払込期日とする有償第三者割当増資（オーバーアロットメントによる売出しに関連した第三者割当増資）による新株発行135,000株により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ83,214千円増加しました。

これらに加え、2023年6月26日開催の第5期定時株主総会において、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を実現するための経営戦略の一環として、現在の事業規模に応じた適切な税制の適用を通じて財務の健全性を維持し、資本政策の柔軟性及び機動性を確保することを目的とした無償減資を決議し、2023年7月31日付でその効力が発生しました。この無償減資により、資本金が727,974千円減少し、この減少額全額をその他資本剰余金に振り替えております。

以上の結果等により、当第2四半期連結会計期間末において、資本金が10,365千円、資本剰余金が2,258,652千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第2四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額
	プラットフォーム	ブロードバンド	SaaS・DX	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,555,925	1,850,578	298,052	3,704,555	—	3,704,555
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,555,925	1,850,578	298,052	3,704,555	—	3,704,555
セグメント利益又は損失(△)	256,764	324,042	△64,826	515,980	△286,131	229,849

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△286,131千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	プラットフォーム	ブロードバンド	SaaS・DX	
売上高				
課金収入	1,068,627	1,812,187	91,911	2,972,726
広告収入	352,049	151	—	352,200
その他	135,247	38,239	206,141	379,628
顧客との契約から生じる収益	1,555,925	1,850,578	298,052	3,704,555
その他の収益	—	—	—	—
外部顧客への売上高	1,555,925	1,850,578	298,052	3,704,555

(重要な後発事象)

該当事項はありません。